

# 平成 21 年度 政務調査研究報告書

会派名	会派 みらい	支出伝票	No.
事業名	農業のみらいを担うためのアグリビジネスへの挑戦		
事業区分(該当へ)	研究研修	調査	資料作成 資料購入 広報・広聴 その他

(1)この事業の目的：どんな課題を解決するため あるいは誰・何を対象に何を意図するのか

第6次産業としての農業の発展を長崎で実現する

## (2)実施概要

調査・研修の場合の 実施日時と 訪問先・主催者	日時	訪問先・主催者等
	平成 21 年 7 月 1 日 10 時 00 分から 12 時 00 分	長崎県大村市 (有)シュシュ 専務取締役 鹿山 雅勝氏

報告内容・実施したこと

### 1、連絡先の概要

団体名 農業生産法人有限会社シュシュ、「大村夢ファーム シュシュ」  
長崎県大村市弥勒寺町 4 8 6



地域の農業を振興し、地区全体の活性化を図るためには、生産者と消費者の交流を活性化する必要があるとし、「おおむら夢ファーム シュシュ」は、交流の拠点的な施設となることを目的としている

第6次産業とは --- 地域の農産物を、生産・製造・加工・販売するといった、生産から販売までの一貫した体制を担うこと

農林水産大臣賞を受賞【交流促進部門】

(表彰理由)

専業農家8人で立ち上げた有限会社で、地元農産物の直売所、加工施設、菓子工房、レストラン、農業体験施設、体験教室を持ち、専業農家としての自立を基本に、生産・加工の人材の養成、都市住民との交流、学校や市民団体との食育、団塊の世代を対象とした「農業塾」の開催などの活動を展開。

- ・専業農家自らが有限会社を設立し、単なるもぎ取り観光農業から、生産から加工・販売、レストラン、食育の取組まで一貫した経営を行っている
- ・平成17年度入り込み客44万人・売上額487百万円

## 2、視察内容

鹿山 雅勝氏から施設の概要と、設立の経過などの説明を受け、場内を案内して頂く。  
場内は農産物や加工品の勅産物の販売エリア、パンやアイスクリームなどの加工所と体験エリア、  
田舎料理のバイキングを行っているレストランエリア、農場、と第 6 次産業の所以を見させていた  
だく。  
バイキングコーナーでは実際に昼食体験もした。



感想(まごめ)・市に活かせること

地元農産物の直売所を運営し、付加価値が大きくなることで農家所得が確保され、農家の生産意欲  
の増加につながっていることが感じられた。  
地元産の原材料を活用したアイスクリーム、パン、プリンは大変な人気で、日などはお目当てで行  
列まで出来るとのことでした。

また、郷土料理を提供するレストランは、元はブドウ栽培の温室でしたが、これもまた雰囲気があ  
り、出される料理と相まって当日も女性客を中心に大変な賑わいぶりでした。  
自治体との関係も良く、子どもたちの職場体験の受け入れで担い手育成にもつながっているとのこ  
と。  
団塊の世代の帰郷を進めるため帰農塾も企画し直売所への出品や新しい商品の開発にもつながって  
いるとの説明。

これらのことを実際目にし、行政や農協をも巻き込み非常にうまくいっている事例だと思いました。  
細かい配慮やアイデアが各所に生かされ将来にもつながっていくと感じましたし、そのためにも  
リーダーの存在の重要性についてお話を聞いていて強く思いました。

第 6 次産業としての農業の挑戦について、飯田市に於いて同様なことができるかは解りませんが、  
意欲ある人が行動を起こす時にどう支援するかということも検討課題として受け止めてまいりまし  
た。



「大村夢ファーム シュシュ」